

event news

2013年2月イベントのお知らせ

「資金相談会（個別相談）」

「家づくり教室 “快適な家” 実践編」

「住まい手様の家見学会」

の3つを開催します。



『資金相談学会』

- 開催日：2月17日（日）
- 開催時間：10時～（満席）
- 場所：エヌテック事務所

■今回はすでに満席となりました。

「家づくりの成功は資金計画から。」
 念願のマイホームに、夢は広がります。ご家族の夢を実現させるためにも、まずはしっかりと資金計画が必須です。
 建築費をはじめ大きな資金を必要とする家づくり。一体何にいくらかかるのか、またその資金は何のために必要なのか。大切な自分の資金の使途、役割を正しく知ることによって家族の将来をも守ることに繋がります。しっかりと知識を持ち資金の計画を立てて家づくりを進めて下さい。ご夫婦でのご参加をお勧めします。

※次回3月の相談会日時が決まり次第ホームページなどでお知らせ致します。

『家づくり教室・実践編』

- 開催日：2月17日（日）
- 開催時間：午後2時～
- 場所：エヌテック事務所

■事前にご予約をお願い致します。

「快適な家は設備でなく建築でつくる。」
 長く暮らす家の室内温度環境（温熱環境）の良し悪しは住まい手の健康まで左右する重要なポイントです。
 寒さ暑さを上手に凌ぐことは、省エネだけでなく、最も大切な「健康」に繋がります。設備では決して実現できない本質的な快適さの作り方について、お伝えするのが「実践編」です。
 一生に一度の家づくり。
 建築がつくる快適さは何物にも代え難い心地良さを建物がある限り住まい手に与えてくれます。「快適な家」にしたいとお考えの方は、ぜひご参加ください。

『住まい手様の家見学会』

- 開催日：2月24日（日）
- 開催時間：10時～15時
- 場所：広島市西区己斐

■事前にご予約をお願い致します。

「住まい手様の家で体験・体感。」
 エヌテックでご建築を頂いたお客様の家にお邪魔して、見学、体験、体感ができる人気イベントです。2013年第1回目は2007年にお引き渡し後6年目に入る西区のS様邸です。敷地条件を最大限活かして設計した家の実際の住み心地はどうだったのか、真冬の今こそ体感のチャンス！
 「快適さ」の実際をぜひご体感・ご確認くださいませ。ホントのことは住んでいる方に聞くのがいちばん！



S様邸内観

【イベントへのご参加方法】

事前にご予約が必要な場合、下記のいずれかにてお申し込みをお願い致します。

- ・弊社ホームページのフォーム（URL <http://www.ntecj.co.jp/>）
- ・エヌテック代表メール（info@ntecj.co.jp）
- ・エヌテックへのお電話（082-509-5771） 担当：佛崎（ぶつぎき）・松下まで

イベント報告「ZEH “Daisy House” 完成見学会（2013年1月19日、20日開催）」

2013年第1回目の完成見学会は、広島市佐伯区三筋のH様邸で開催致しました。最高外気温が5度程度という厳しい寒さの中でしたが、エヌテックが独自に提案する「そよ風」（太陽熱利用床暖房換気給湯システム）+PV（太陽光発電）の今最も注目される“ゼロエネルギー住宅（ZEH）”とあってご来場を頂いた皆様は熱心にご見学をされていました。2030年に新築住宅全てでゼロエネ義務付けになる国のロー

ドマップを踏まえたエネルギー計画を立てた「快適」ゼロエネの“Daisy House”は高性能躯体+パッシブデザインで暮らしのエネルギーを減らしながら創エネを付加した計画です。中身は最先端の計画でも、見た目は人に優しい自然素材で作った和める質感でも好評を頂きました。ご入居後の実際の各種データ、暮らしづくりが最も大切。今後も定期的にお伺いしヒアリングと検証をして行く予定です。



H様邸内観

超快適 & ゼロエネ研究所 通信 vol.01 FEB. 2013

株式会社エヌテック

〒733-0007

広島市西区大宮 2-13-7

TEL:082-509-5771 FAX:082-509-5772

E-mail:info@ntecj.co.jp

HP:<http://www.ntecj.co.jp>



『超・快適 & ゼロエネ研究所通信』 始まります！

エヌテックが家づくりで追及するのは、「快適」を超える「超・快適」。パッシブデザインもZEH（ゼロエネ住宅）も耐震性も暮らしの快適のための手段であり、建物に限らず「快適」に繋がることには全てに関心を持ち、新しく月一度のペースでお届けするこの「超・快適通信」で、最新の快適な家づくり関係の情報と共に様々な「快適」を取り上げていきます！☆お楽しみに☆

うちエコ診断実施中！ 「うちエコ診断士」が、 みなさまの暮らしを check!

環境省の事業として始まった「うちエコ診断」。皆様のお宅にうちエコ診断士が伺ってアンケートと聞き取り調査により、診断とアドバイスを行っています。
 エネルギーの無駄使いには気を付けているつもりでも、客観的な指標もないため何となく…という方も多いと思います。

どこに注意したらさらによくなるのかを、具体的にアドバイスします。コストが掛かるものからすぐに行えるお手軽改善策まで幅広くアドバイスを行います。
 家庭の省エネは、ランニングコストの削減という目に見えるメリットから始まり地球温暖化防止に繋がる実は壮大なエコな取り組みなのです。ご希望の方は、エヌテックまでお申し付け下さいませ。

「超・快適への道：睡眠編」
 超・快適への道は、建築だけにとどまらず、いろいろなことを取り上げて行きたいと思えます。1回目は、「睡眠」についてです。
 様々な媒体で、良質な睡眠をとるためのグッズがたくさん取り上げられています。枕、シーツ、マット、寝具…。多くの方が睡眠について高い関心をお持ちということの表れだと思います。そこで、ある雑誌で見つけたのが、上質な睡眠を演

出するという寝間着、「トゥリーツ」です。寝間着にするには、上下で4万円近く！とかなりいいお値段？ではありますが、休養専門ウエアで「運動時に着用してはいけない！」というコンセプトはかなりインパクトがありますね。“リカバリーウエア”というそうです。寝間着にどこまでコストを掛けるかは個人の価値観になろうかと思えますが、人間にとって睡眠という休息の時間をどう過ごすかは、「快適」を目指す家づくりにとっても大切なポイントであることは間違いありません。
 「トゥリーツ」ネットから購入できます↓



<http://www.venex-j.co.jp/onlineshop/list/trees.html>

ゼロエネ研究所レポート

松下の自宅を大規模改修して約2年が経ちました。高齢の母と私の2人暮らしで2回目の冬を迎え省エネのコツも少しずつ掴めてきました。去年（2012年）2月には、念願の？太陽熱温水器（エコワター by 長府製作所）も導入し太陽熱を給湯エネルギー削減として利用できるようになりました。今年（2013年）の1月は寒さの厳しい月だったことで、昼間在宅のことが多い母の為、暖房用灯油ストー

ブの燃料費（灯油代）が結構掛りました。今後、灯油の価格上昇が予想されるため暖房方法について要再検討ですね。
 真冬でも太陽熱でお湯が取れるのには感激！外気温は5度程度でも15度程度のお湯になってガス代減に一役買っています。（エコワターは湯温表示はありません。）
 去年からのガス炊飯を実施中とオーブントースターをほぼ使っていないため、電気代は改築工事前の半分以下になりました。

松下家 2013年1月の光熱費

電気代	3,058 円
ガス代	6,660 円
灯油代	約 7,000 円
合計	16,718 円



My Topics

エヌテックメンバーからの家づくりトピックス

『環境整備』

土井長 元気

工務部の土井長です。エヌテックの倉庫をご紹介します。管理は工務の私が担当しています。



倉庫には、材料、道具、養生材等いろいろなものがあります。

私が言うのも変ですが、とても綺麗に整理整頓をしていて、どこに何が、どのくらいの数量があるかなどを明確に管理しています。

倉庫に引き上げる時、現場から疲れて帰って来ると、適当に物を置いてしまいグチャグチャになってしまうケースが多いと思いますが、そこは、置き場所を明確にして元の位置にきちんと戻す。

当たり前な事ですが、いざやるとなるとなかなか継続が難しい事です。

これからも持続出来る様に、しっかりと管理していきます。



エヌテックの倉庫

『ご入居後のメンテナンス・樋のつまり』

佛崎 浩平

お客様サポートの佛崎です。「最近の、私の悩みは乾燥です。外で冷たい水にあたる事が多かった昨年末は手のアカギレが酷く…。治ったかと思うと乾燥が進み、手の甲はぼろぼろです…。ハンドクリームを一日4回は塗っています。何かお勧めのお薬がありましたら、教えて下さい！



さて、5年点検を実施したお客様のお宅での出来事についての報告です。お住まいは、山が近く山側から吹く風が強いこともあり、枯葉が飛んできやすい環境です。

案の定、樋の集水部から雨が漏るんですと、ご相談を頂きました。

ルーフバルコニー一部にある樋だったこともあり、枯葉だけでなく、髪の毛などがネット代わりに、塵・ほこりも一緒にキャッチしている状況でした。

一番の大きな原因は、お子様のコレクションだったであろう、ポケモンの丸いカードでした。生活の用途や、土地の周囲の特徴を知ることは、こんなところにも生かされ対策方法をご提案できなければと改めて感じました。



樋の集水部

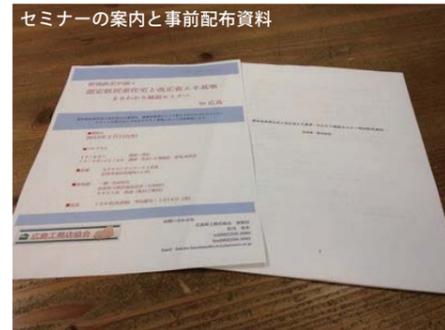
『認定低炭素住宅と改正省エネ基準』

谷口 護

設計担当の谷口です。2月1日に広島で「認定低炭素住宅と改正省エネ基準、まるわかり解説セミナー」



が開催されました。解説者は、エヌテックが大変お世話になっている野池政宏さんです。弊社からは、私と渡部とで出席してきました。



セミナーの案内と事前配布資料

案内と事前配布資料です。しっかりと予習をして当日のセミナーに臨みました。

昨年「認定低炭素まちづくり促進法」が制定されたことに付随して12月4日より認定低炭素住宅が始まり、長期優良住宅と同等の税制優遇措置が受けられるようになりました。そして、認定低炭素住宅の判定に改正省エネ基準の計算が用いられることになったため、改正省エネ基準も昨年12月に告示されました。

ちなみに省エネ基準は、旧省エネ基準(1980年) →新省エネ基準(1992年) →次世代省エネ基準(1999年) →改正省エネ基準(2013年施行)と、オイルショックなど時代の流れと共に変更されてきました。

そして、2020年には、改正省エネ基準が義務化される予定であります。

昨年はゼロエネ住宅に対する補助金制度なども開始され、国が住宅づくりに何を求めているかがよりはっきりとしてきました。今回の省エネ基準の改正で大きく変わったのは、住宅の性能を一次エネルギーで考えるという点です。

また、パッシブデザイン的な要素が検討項目に加わったことも大きな進展だと思えます。

住宅づくりでは、本当にいろいろな事を考えたりするわけですが、どういう点を重要視して計画していくかは千差万別です。エヌテックとしての考えをわかりやすくしっかりとお伝えしながら、共感する家づくりをこれからも目指していきたいと思えます。

『ご入居後のヒアリング』

渡部 良佑

設計担当の渡部です。先日、佛崎と一緒に去年お引き渡しをした大竹市のO様邸に、確定申告の案内とヒアリングに行ってきました。



確定申告をして頂く事で、所定の税金が還付されます。

エヌテックのお住まいは長期優良住宅の認定を受けるのが標準となっていますので、O様邸も認定を受けていないお住まいより、税金面で優遇されます。

ただ、初年度は申告が必要となるので、お引き渡し後にエヌテックで準備できるものは用意して申告について説明に伺っています。

O様には、佛崎より申告について説明を行いました。またご入居後の暮らしぶりをお聞きするのも大切なことです。

話ながら、楽しく住まわれているのが伝わって来ました。

建築中は小さかったお子さんがすっかり大きくなっていて、元気いっぱい在家中を走りまわっている姿を見て私も嬉しくなりました。

今年は大竹市も寒さが厳しい冬ですが、暖かく過ごしてもらっているようです。あと、O様邸には、太陽熱温水器(エネワイター)を設置してもらっているのですが、冬でもお湯の温度が40度くらいになることもあるそうで、太陽熱のすごさを実感できました。



確定申告のご案内とヒアリング

今月のすてき、快適！

設計チーフ 松下 陽子



インヒールスニーカー 「ASH (アッシュ)」

スニーカーと言えば、一昔前はスポーツ用だったのですが、今は様々なシーンに対応したいろんなスニーカーが出ていますよね。

そこで、今、注目を集めているのが「インヒールタイプ」のオシャレ用スニーカーです。フランスのデザイナー「イザベル・マラン」から始まったヒールスニーカーの流行はこの春夏ですますますブレイクしそうな勢いです。

一番のポイントはヒールが内蔵されているため履きだけで足がスラリとスタイル良く見えること。しかも、元はスニーカーということもあって長時間の歩行もOK

の街歩きには最適なスグレもの。オシャレにしたいけど、ハイヒールじゃさすがに長い時間歩くのはつらい…といった悩みも解消してくれるとあって、常に見られるのがお仕事でもあるセレブの間でも大人気。

オシャレ心も満たしつつ快適さも兼ね備えた「インヒールスニーカー」。比較的入手しやすい価格でオシャレなものとしておススメなのが「ASH (アッシュ)」のもの。

この春夏は、明るい色合いのタイプもたくさん出ていますから、お好みのカラーでご自分なりのスタイルを楽しんでみて下さいね。



ASH 公式 HP : <http://www.ashjapan.com/>
価格：25,000円くらい～

快適を突き詰める

エヌテック代表 野坂 和志



「先ずはしっかりとした構造性能」「快適さ」と「家の構造」が何か関係があるのか？

皆様、不思議に思われるでしょうか？ いろんな快適がありますが快適と感じるにはまず少々の災害にはビクともしない、しっかりと強い家でなければならぬはず。綿々と日々の生活を送るための基本中の基本です。

東北の震災では津波の被害があまりにも多く目を覆う惨状があちこちで見掛けられました。木造の家屋は跡形もなく消え去り、残ったものは家を支えていた基礎のコンクリートだけという有様。しかし、津波をやり過ぎて残った木造住宅も確かに存在しています。屋根付近まで津波が

押し寄せ、あらゆる漂流物が押し寄せる中でも被害を最小限に食い止め、立ち続けていた木造の家があったのです。今、国の指針として「認定長期優良住宅」の条件の中に「耐震等級2以上」と定められていることで分かるように、いい家の条件はレベルの高い耐震性が求められています。

大震災といえども地震による家屋の倒壊によって人命を無くすということなどあってはならないのです。

お客様の命を守る「家」を作る立場として、先ずは構造躯体の性能の上に全てが成り立つことから、「耐震等級2以上」ではなく最高等級である「耐震等級3」を持つ住宅であるべきと私は考えています。



耐震等級3のお住まい